



# 〈災害時ペットとの同行避難についての備え〉

## ■東日本大震災時の状況

犬

震災発生以前と発生後の自治体への登録頭数で算出死亡頭数は青森県で少なくとも31頭、岩手県で602頭、福島県では約2,500頭。  
※登録がされていない犬は含まれない

猫

登録制度がない為、被災状況はほとんど分かっていない。しかし、波に流された可能性が高いとされている

⇒それ以外にも避難する際に飼い主と離ればなれとなり、放浪状態となったペットが多数存在した

## ★ペット用の備蓄品の確保

- ・リード、フード、常備薬、処方食、水、食器
- ・飼い主の連絡先と飼い主以外の緊急連絡先の情報
- ・ワクチン接種状況、既往歴、健康状態、かかりつけの動物病院などの情報



フードは最低でも7日間分、  
常備薬・処方食は2ヶ月以上  
準備しておいた方が安心だよ♪

## ★健康管理を行う

- ・狂犬病や混合ワクチンなどの各種予防接種、ノミやダニの駆除、不妊・去勢手術

## ★避難ルートの確認

- ・住んでいる地域の避難所の所在地や避難ルートを確認しておく
- ・避難所にペットを同伴出来るのか、連れて行く際の注意事項など事前に自治体へ確認しておく
- ・避難所への避難以外にも、親戚や友人など、ペットの一時預け先も検討しておく

## ★しつけ

- ・キャリーバックやハウスに慣れる練習
- ・待てやお座り、伏せなどの基本的なしつけ
- ・いつでも排泄ができるように

覚えておくと  
災害時だけではなく、  
旅行など普段から役に立ちます！



## ★迷子にならないための対策

- ・迷子札や鑑札や狂犬病予防注射済票、マイクロチップの装着、AIPO登録

マイクロチップで身元を特定する為には  
AIPO登録をする必要があります

行方不明になったペットの中で、  
後日飼い主が判明した割合のデータ↓  
首輪のみの犬：0.4%  
迷子札や鑑札・済票装着の犬：ほぼ100%